

ユーティーケー工業株式会社



金属プレス加工製造を手掛ける宇都宮工業株式会社(愛知県豊川市)の関連企業として1989年に設立。自動車部品を中心に製造してきたが、約20年前に工業化住宅製品製造に乗り出し、“現場の声”をヒントにアイデアを具現化。次々と建築業界で革命的な製品を生み出してきた。2018年10月に遮熱工法を用いた新工場を建設し、全国から注目を集めている。

自動車から建築業界へ

宇都宮工業(株)のU、豊川のT、そして、河辺のK。県の誘致企業として、秋田市河辺の工業団地の一角に、ユーティーケー工業株式会社が設立されて30年。2013年から、本社の宇都宮工業株式会社と共に土井昌司氏が代表を務める。国内外の情勢が大きく変化した平成の時代に、同社もまた大きな転換期を迎えた。

「自動車部品製造が好調だった本社の生産体制を強化するべく、秋田に工場を設立した矢先、自動車メーカー各社が海外生産へシフトし始め、当社へも取引先から海外進出の話を持ちかけられました。しかし、まだ自社の生産体制も完全に確立できておらず、当社は、将来に渡る安定的な生産体制を確立するため国内で完結できる事に専念すべきと考えました」。

取引の98%は自動車関連。盤石な経営基盤を持ちながら、ゼロからのスタートとなる事業転換へと大幅に舵を切り直すのは容易ではない。しかし、当時営業を担当していた土井代表のとった行動は、実にユニークなものだった。

「新規展開として着目したのは大手住宅メーカーです。もちろん、いきなり『仕事をください』と訪問してもらえないですね。まずは2週間毎日、住宅メーカーの手掛ける新築物件の建築現場に通い詰めました」。

弁当を持参し、作業の邪魔にならないよう現場で1日を過ごした。そして、親しくなった職人から現場の課題を聞き出し、社に持ち帰った。

「天井作業等では不安定な姿勢のため、脚立から転倒する事故が多発したり、仕上がりも職人の腕頼みになったりと、現場ならではの問題に気づきました。そこで“軽くて、強度があり、天井にワンタッチで誰にでも取り付けられる金具”を試作して持っていったんです」。

携えた試作品は大いに評価され、“面白い企業がある”と瞬く間に取引は拡大した。わずか6品番から始まった建築関連の部材は25,000品番を優に超え、現在では全体取引の98%が建築業界と大逆転。大手住宅メーカーの東北地区の重要な生産拠点として位置づけられている。

ヒントは現場にある 日常的に気づく力を醸成

“タネは現場にある”。自動車業界で培った「現地現物主義」の考え方は、土井代表の揺るぐことのない信念だ。

「大切なのは日常的に意識すること。例えば改善が必要な現場に立ったとき、それをおかしいと思うか、普通のことと流すか。どれだけ真剣に考え、何に気付けるか。すぐに実行に移すことも重要です」。

“課題を的確に把握する力”と“圧倒的なスピード感”でお客様に最初に声を掛けられる会社を目指す、経営者でありながら現場にも取引先にも積極的に赴く土井代表は率先してこれを実行する。YESかNOを即決できる交渉力は、ユーティーケー工業の持ち味である開発設計から量産化までの社内一貫体制を最大限に活かすことができている。土井代表の掲げる方針が独り歩きせず、従業員の心持として社内の随所に現れているのも特徴的だ。その一例が、様々な部門や工程で改善点として気付いたことを提案する「改善提案活動」。コスト意識と生産性を高めることを目的として始められ、2018年は

全従業員から400件もの提案があった。

さらに、工場内のレイアウト変更に取り組み、あえて何も置かない空間を作った。余分なスペースを目に見える形で提示することで、『あの空間は何に使えるのか。スペースがあるならば新規の仕事を受注できるのではないか』と従業員の日常的に“気付き、考える力”を後押しする。

全国から注目される新工場 遮熱工法で切り拓く新しい未来

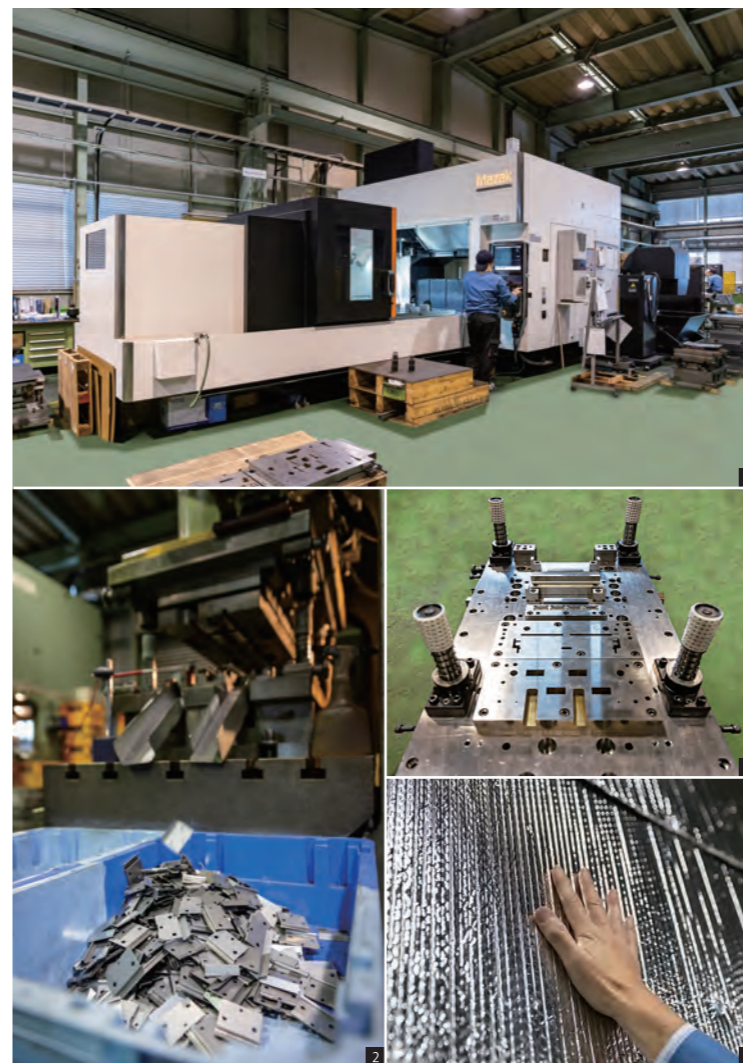
建築業界で次々と革命的な製品を生み出してきたユーティーケー工業の業績は好調で、2018年10月には同敷地内に新工場を竣工。今、この新工場に全国から熱い視線が注がれている。

「従業員が夏も冬も快適に仕事ができるように、遮熱工法を導入して建設しました。今回初めての冬を迎えましたが、成果が目覚ましく、全国から視察が訪れる毎日です」。

宇宙産業でも使用されている超薄型遮熱シート・リフレクティックスを用いた遮熱工法では、外部からの熱や冷気を反射し、室内に保たれた温度を逃がさない。エアコン等の稼働率が下がることでランニングコストやCO2の削減にも繋がる。同素材の遮熱屋根部材を開発したユーティーケー工業にとっても、新工場は格好のモデルルームだ。

「少子高齢化が進む現代において、業界全体の縮小は否めません。今回、寒冷地の秋田で有用性を実証できたことは、常識だった断熱工法に代わり、新たなマーケットを切り拓く糸口となりました。大手メーカーの工場や学校の体育館等、需要は高いと考えています」。

目まぐるしく変化する時代だからこそ、現場には日々新しいニーズが生まれる。独自の視点と先進的なものづくりで、ユーティーケー工業は躍進を続けていく。



1~3 工場内の設備も充実しており、大小様々な加工に対応。
4 新工場内で用いられているリフレクティックス。

ユーティーケー工業株式会社

〒019-2611 秋田県秋田市
河辺戸島字七曲台120番地18
TEL. 018-882-3388
FAX. 018-882-3762
<https://utk-k.co.jp/>

創業 / 1989年
●資本金 / 3,000万円 ●従業員数 / 50名
●営業品目
工業化住宅用金物部品
自動車部品内外装品
プレス金型、治具、設計製作等

代表取締役社長
土井 昌司
と い ま ち し